

ボランティアスタッフ(ブースサポーター)の皆様へ

ミニ☆いちかわ2015 9月26日(土) 10:00~15:30 現代産業科学館&コルトン広場
27日(日) 10:00~15:00

(雨天決行・荒天中止)

「ミニ☆いちかわ」の大人スタッフは・・・

ミニ☆いちかわは、子どもたちが自分たちの力でまちを運営しています。

ここでは、子ども自身が自分で考え、自分で決めることを大事にしています。多少のトラブルも、子どもたちの力で解決します。

どうぞあたたかく見守ってください。

子どもの自主性を大事にし、手出し、口出しはしません
もちろん命令や管理もしません
ただし、子どもたちの安全には最大の配慮をします

みんなが楽しい「ミニ☆いちかわ」、大人の皆さんも一緒に楽しんでください！！

タイムスケジュール

1日目 9月26日(土)

6:50	大人スタッフ集合 テント設営・搬入開始
8:00	大人スタッフ&子どもスタッフ集合 ブースの準備
8:30	メインサポーター、子どもスタッフ打ち合わせ
9:00	受付開始
9:40	オープニング準備 子どもスタッフ集合
9:50	オープニング
10:00	ミニ☆いちかわ スタート
	仕事開始 最初の仕事は30分 2回目からは、10分~120分
14:00	受付終了(最終入場)
14:30	職安終了
15:15	銀行終了・お仕事終了
15:20	エンディング みんなでエンディングに参加！
15:30	ミニ☆いちかわ 一日目終了
15:35	ブースサポーター まとめの会 子どもスタッフ まとめの会
	ブースの片付け
16:15	館内へ荷物を運び入れる
16:30	解散

2日目 9月27日(日)

8:00	大人スタッフ&子どもスタッフ集合 ブースの準備
8:30	メインサポーター、子どもスタッフ打ち合わせ
9:00	受付開始
9:40	オープニング準備 子どもスタッフ集合
9:50	オープニング
10:00	ミニ☆いちかわ スタート
	仕事開始 最初の仕事は30分 2回目からは、10分~120分
14:00	受付終了(最終入場)
14:30	職安終了
14:45	銀行終了・お仕事終了
14:50	エンディング みんなでエンディングに参加！
15:00	ミニ☆いちかわ 終了
15:05	ブースサポーター まとめの会 子どもスタッフ まとめの会 テント解体開始
16:30	子どもスタッフは、ブースが片付け次第解散
17:00	資材返却トラック到着 撤収後解散

※天候等によっては時間が変更になる場合があります

ボランティアスタッフの仕事

※手出し口出しせずに、子どもが主体的に動けるよう、また危険のないよう見守ってください。メインサポーターと子どもスタッフが事前に打ち合わせをしています。何を手伝ったらいいのか尋ねてください。

- ◆主な仕事は ①子どもの市民カードに働いた時間を記入
②子どもの安全を見守る。基本を教える(包丁の使い方など)
③子どもに相談されたら、一緒に考える 等

「ミニ☆いちかわ2015」のしくみなど

◆準備や片付けも含めて働きの来た子どもたちの仕事です。

- ・ 開店準備は、店長と相談の上子どもたちと一緒に行ってください。
- ・ 食べものブースや工房などの商品を作るのは、10時のまちが始まってからです。

◆エンディングは子どもも大人も全員が参加します。片付けは一時中断して、ステージ前に集合してください。

◆片付けは、店長と協力して行います。売り切れなどになった場合は、片付けを仕事にしてください。

注意事項

- ◆館内は水もの、汚れるものはダメです。(細かい物を取り扱う場合はシートを敷く)
- ◆屋内外地面の汚れ(マジック・テープ、食品など)にも気をつけてください。(シートを敷いて作業する)
- ◆館内の掲示物はパネルを使用(画鋏を使用、壁には貼らない)
- ◆クラフトテープ(紙ガムテープ)の使用はしないでください。(布ガムテープ、養生テープを使用)
- ◆やけどはすぐ水場へ。病院ブースは絆創膏程度の場合のみ。その他は大人スタッフ受付＝本部へ。

市民カード への記入方 法	・働ける時間は10分～120分 但し1日の最初の仕事は30分以内(ワークシェアリング) ・同じ仕事がしたい子はもう一度職安に行く ・働いた時間は10分単位で記入(端数は切り捨て) ・店長と相談し、市民カードの記入を子どもの仕事にしてもOK。
通貨、給料 換金制度	金種・・・5メティ・10メティ・50メティ・100メティ・500メティ・1000メティ の6種 給料・・・10分働いて100メティもらえる(お給料は、銀行でもらう) 資本金・・・各ブースに1000メティ支給(店長に渡し済)。レンタルショップでの材料調達や、宣伝のための経費などに使用する。 売上金・・・売り上げを数えて銀行に入金する。銀行が預金の営業に行く場合もあります。 換金・・・昨年のメティは、銀行で今年のメティに換金できる(半額に換金)。 今年のメティは3000メティまで来年のミニ☆いちかわで換金して使える。ただし半額になる。 (最高3000メティ→両替後1500メティ) 行徳会場では使えません。 ※ブースで使えるものは、今年の通貨のみ。 借入金・・・資金が足りなくなったら、店長と相談の上、市役所で借りることができる。
公共ブース・ 流通	・困ったことや相談⇒市役所または運営本部へ ・店の宣伝⇒放送局、テレビ局、新聞社、市役所掲示板を利用 ・工房でできた商品はデパートで販売 等々、ブースどうしが関わりあって動いています。 ・材料が足りない・・・レンタルショップで借りる ・落し物⇒けいさつへ
仕事	アルバイト制度・・・緊急の場合や一時的に多人数必要なときにアルバイトを雇うことができる。 ・職安の列の前から募集を呼びかける。(ブースで直接声をかけてもよい) ・時給は通常通り。雇う時間は最大30分。市民カードに「アルバイト」と記入 ・仕事が早く終わった→30分の契約なので時間を30分で書く ・子どもが途中でやめる→働いた時間で記入 起業制度・・・市役所に届出後起業できます。(届出時に出資金1500メティが必要) 職安に行かなくても働けるブース(時間制限なし) ・「ミニいち学校」(10分) ・幼児のみ職安へ行かなくても働けるブース ・・・「にゃんともさかなつり」「みんなで忍者」「貯金箱・おこづかい帳工房」 食品ブース・・・別紙にて注意事項を渡してあるので、読んでおいてください。
子どもスタッ フの特典	バックヤード・・・子どもスタッフと当日店長は、並ぶことなく、お店の後ろから品物を買うことができる。 1店舗1商品まで。1日4店舗まで(店長の市民証に印を記入する)
その他	・工房ブース等で作成した品物の「取り置き」はトラブルになりやすいため、なるべくやめましょう。 ・未就学の幼児には、安全のため幼児付き添いスタッフ(保護者)が子どもと一緒に行動します。子どもが働いている間、ブースでのお手伝い(市民カードの記入など)はどんどん頼んでください。

こんな時どうするの？

子どもたちが自主的に考えて動くはずの「ミニいちかわ」でも、何をしたいかわからない子どももいるし、指示を待ってずーっと立っている子もいます。待つにも限界があるし…

こんな時にはどうしたらいいの？といった今までの相談の中から対応集をまとめてみました。

この事例はあくまでも参考です。いろいろな大人がいるように子どもによって対応も様々。

臨機応変に対応してください。そして、子どもたちの意外な行動や思わぬアイディアを楽しんでください！

こんなときには	こんな対応
1.緊急事態！？	
子ども同士がけんかをしている	けんかも関わり方のひとつ。危険でない限り 子どもたちの力を信じて見守ってください 。周りにいる子どもが解決することもあります。声をかけるときにはそれぞれの言い分を公平に聞いてくださいね。
危険なこと、人に迷惑をかける事をしている	危険な場合は制止し、その後どうして危険かきちんと説明してあげてください。どうしたらいいのか一緒に考えたり、道具の使い方などブースの子どもみんなで話し合えるといいですね。
子どもが怪我をした	切り傷程度の小さな怪我の場合は、「病院ブース」にキズバン、消毒薬があります。大きな怪我の場合は、怪我をした子どもへの対応をするとともに、「大人スタッフ受付(本部)」の担当者に知らせてください。
2.とっても気になるう～でも口出し無用！	
お客の子どもがたくさんならんでいる	子どもは納得して待っています(嫌なら並びません)。大人が あわてる事はありません 。
子どもの手際が悪い	その子なりのやり方を尊重してあげてください。子ども 自身が学んで改善していきます 。遅くてもOK、待ってくださいね。
ちゃんとした商品ができない、子どものやり方では失敗しそう。	大きさの違う商品や見た目の悪い商品があっても気にしないで！売れない事も経験で、どうしたら売れるのか考えるきっかけになります。 失敗から学んだことは、子どもたちの大きな力になっていきます 。
ズルをしている子がいる	大人社会同様、子どものまちにも悪さをする子が現れます。そんな時は警察の子どもに伝えたり、市役所の子どもに相談してください。目に余る時には、メインサポーターの大人に伝えたり「大人スタッフ受付(本部)」の担当者へお知らせください。
3.とっても気になるう～Iメッセージ(私はこう思うけど…)で伝えてみましょう！	
子どもが大人の指示を求める	子ども店長や長く働いている子に「聞いてみてね」と声かけします。聞ける子どもがいない場合は、 即答せずにいっしょに考えてみてください 。
どこまでが口出しで、どこまでがアドバイスかわからない	例えば、包丁やはさみの安全な使い方など、基本的な仕事を教えることは必要です。基本がわかると、そこから想像力を働かす事ができます。また「例えばこんなことができるかも…」というように、問いかけの的にきっかけを提供したりすることで、子どもたちの興味や次の行動を引き出していくことができます。
とにかく何でもかんでも大人に聞いてくる	「私はこう思うけど…」と伝えてみることもひとつの方法です。それを採用するかどうかは子どもが決めていきます。ただし、 メッセージの声は控えめに！ 言い方によっては、「こう言われた」と命令的に受け取られてしまう事もあります。
4.困ったなあ～ ミニいちかわの趣旨を伝えてください！	
外野にいる大人にクレームをつけられた	この用紙にある、ミニいちかわの趣旨を伝えてください。困った時には「大人スタッフ受付(本部)」で対応します。ご案内してください。

保護者&スタッフ「ミニいちを語る会」のお知らせ

①10月11日(日) 13:00~15:00 勤労福祉センター大会議室

(子どもスタッフまとめの会と同日に行います)

②10月30日(金) 10:15~13:30 勤労福祉センター調理室

「ポップオーバーを作りながら「ミニ☆いち」を語ろう！」 有料

※事前準備から当日までの子どもたちの様子など、自由に語り合しましょう。

・・・お問い合わせは、下記主催団体事務局まで・・・

NPO法人市川子ども文化ステーション

E-mail miniichi_kodomo@yahoo.co.jp

<http://kodomobst.org/>

ミニ☆いちかわ (現代産業科学館)を担当

●中央地区:市川市鬼越 2-5-1-101

TEL/Fax 047-332-3024

E-mail: i_chuou@icnet.ne.jp

●北地区:市川市東菅野 5-8-21-201

TEL/Fax 047-339-7744

E-mail: ichikawaoyakogekijo@yahoo.co.jp

